

MOTO WIN RACING “Road to 8hours” 鈴鹿 300km 耐久ロードレース 参戦レポート

#899 MOTO WIN & Kiss-FM KOBE 鈴木／野田組 堂々の13位フィニッシュ

■ 三重県鈴鹿サーキット ■ 決勝日時 : 2004年5月30日(日) ■ コースコンディション: ドライ ■ 気温: 27.1℃

「 #899 MOTO WIN & Kiss-FM KOBE 」 鈴木 慎吾 / 野田 弘樹 組 予選 17位 決勝 13位



鈴木慎吾選手(左) / 野田弘樹選手(右)

鈴鹿 8 耐前哨戦として“Road to 8hours”鈴鹿 300km 耐久レースが三重県・鈴鹿サーキットで開催され、我ら MOTO WIN & Kiss-FM KOBE の 鈴木慎吾／野田弘樹 組(ホンダ)は、ワークスチームなど強豪チームがひしめく中、堂々の13位フィニッシュを果たした。ご声援ありがとうございました。

5月29日(土)公式予選、今回初採用となった第1、第2ライダー混走によるチーム単位での予選方式は、2人のライダーに十分な走行時間が与えられず各チームとも戸惑いの中でのセッティング、タイムアタックが続けられた。その結果、Honda CBR1000RR を駆る MOTO WIN & Kiss-FM KOBE は、2分14秒623のタイムにて17番手グリッドを獲得した。

5月30日(日)、8耐さながらの「ル・マン式」スタートで午後0時50分決勝レース(52周)61台の戦いは始まった。前日行われた「8耐参戦記者発表会」にて多くの協賛スポンサーに支援され、初参戦に向けての抱負を初々しく少しテレ気味に語った鈴木だったが、レースになれば強気のライディングを見せ確実にポジションを上げていく。25周目予定通りのピットイン、前後タイヤ交換、ガス給油、ライダーは野田へとチェンジされた。今回は燃費についてもシビアなレースであったが、的確な判断力で攻め続ける。終盤までそのスピードを緩めることなく、ホンダ浜松エスカルゴ 名倉選手 を抜き去り、総合13位(クラス9位)にてチェッカーを受けた。

ライダーのコメント

鈴木慎吾 「3月の2&4レースでは4輪との併催で路面状況に戸惑い、その後のテストも少なく今大会を迎えた。今日はスタートで手間取ってしまい抜け出すまでのロスが悔やまれます。いつもと同じように走ることを心がけていた。4耐で築いてきたチームワークは僕らの大きな武器です。8耐へ向けていい流れがくれたと思う。」

野田弘樹 「攻め続けていければ後半チャンスがあるのはわかっていた。ニューマシン CBR1000RR に乗り始めるのが遅かったが、ブリヂストンタイヤとの相性もよく気持ちよく走ることが出来た。このチームとなら安心して8耐に望めるだろう。その確認が今回のレースでの一番の目的であり収穫だった。」

併催レース「鈴鹿 ST600 150km レース」決勝には、MOTO WIN RACING より3名が参戦しました。併せて結果報告をさせていただきます。

#52 稲垣琢真 / 予選18位・決勝18位 | #71 長尾俊二 / 予選39位・決勝27位
#12 高田敦史 / 予選45位・決勝50位

稲垣琢真 「4時間耐久レース連覇へ向けて、今レースで確認された課題を確実にクリアしていきます。」

<リリース掲載写真は Panasonic デジタルカメラ LUMIX を使い、チームスタッフによって撮影いたしました。>
レースリザルト http://www.procione.com/suzukaland/2r/rr_index.htm (鈴鹿サーキット HP)